

安全の確保に向けた取り組み状況に対する点検・改善措置

項目	内容
安全方針	安全最優先・法令順守、安全管理体制の構築及び定着
輸送の安全に関する目標	目標である、「有責重大事故0」が達成できている。
輸送の安全に関する計画	①交差点左折時の一旦停止実施 ②構内での事故も0で達成できている。
安全投資	令和元年度に衝突防止補助システムを未装着車に装着済み

項目	内容
1 経営トップの責務	毎月実施の現場巡視の機会、乗務員との会話の中から、訓示等を通じて安全方針を社内全員に周知徹底
2 安全方針	月毎の安全教育を通し、車庫内事故を減らすよう決定
3 安全重点施策	前年度の有責事故を精査し、翌年度事故0になるよう目指させる。
4 安全統括管理者の責務	安全統括管理者が日々現場、車庫内巡視している。
5 要員の責任・権限	安全管理規定に明記して従業員に周知している。
6 情報伝達及びコミュニケーションの確保	現場でのコミュニケーションを増やし、意思伝達がスムーズに働くよう努める。また、会社連絡にフリーダイヤルを活用するよう伝える。
7 事故ヒヤリハット情報等の収集・活用	①事故情報は、発生後詳細を調査の上、掲示し乗務員に周知 ②国土交通省メールマガジン（重大事故情報）を毎週印刷し、掲示 ③ヒヤリハット情報はマップを作成し掲示する。
8 重大な事故等への対応	年一回、重大事故を想定した訓練を実施し、実施後は課題や問題点を明らかにし、万が一に備える。
9 関係法令等の遵守の確保	服務規程を乗務員休憩室へ掲示し、周知を図る。
10 安全管理体制の構築・改善に必要な教育訓練等	年間計画に則り、月毎の乗務員教育にKYTトレーニングを導入、また、乗務員が月毎に各々安全目標を決め、遵守するよう指導する 重大事故情報（メールマガジン）を毎週掲示し注意を促す
11 内部監査	毎年12月に実施予定
12 マネジメントレビューと継続的改善	前年度の安全重点施策達成状況の検証結果を踏まえ、マネジメントレビューを実施

代表取締役社長

大木 俊 隆

安全統括管理者

深 沢 道 孝

事故発生状況の推移

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
交通事故件数	5 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
有責事故	4 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
死者数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
負傷者数	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
車両数	15両	12両	14両	15両	14両	16両
総走行キロ	76万キロ	75万キロ	71万キロ	68万キロ	63万キロ	77万キロ

